

ICT を活用した便利な地域

①これからの遠阪の姿

不便なく暮らす。そのためにインターネットなどの情報通信技術を活用し便利な生活ができる地域に。

②目標を実現するための内容（取り組みの方向性）

ICT について気軽に相談できる人や窓口、セミナーなど学び・試せる場を整備し、ICT を無理なく使い分けられる地域を目指します。高齢者が徘徊や迷子になっても居場所がわかるよう、高齢者が安心できる ICT 環境の整備を目指します。ICTを活用した持続可能な農業や、ドローンの多用途活用が進む地域を目指します。



キーワード

ICT を無理なく使い分けられる ICT を学び・試せる場がある ICT で農業を持続可能にする
高齢者が安心できる ICT 環境の整備 ドローンを多用途に活用できる

具体的なアイデア

■AI を活用した会議記録作成 ■スマホ・アプリ・ICT 講座 ■自動運転 ■SNS 活用
■LINE 等での情報1本化 ■オンライン診療 ■他地域との連携

自治会等の負担感が少なく、誰もが自治会・地域に関わることができる地域

①これからの遠阪の姿

地域や自治会の活動や役に負担感なく暮らす。そのために地域や自治会の活動や役の整理や見直しが進み、持続可能でみんなが（特に若者が）参加しやすい仕組みや個人の時間も尊重できる工夫ができ、世代交代に不安のない地域に。また、地域全体や自治会同士で連携が取れ、地域や自治会の活動にみんなが主体的に緩やかに参加でき、課題解決や新しいことに挑戦しやすいままとりのある地域に。



②目標を実現するための内容（取り組みの方向性）

従来の戸主中心の運営から、女性や多様な住民が参画できる自治会を目指します。そのため、誰もが関われる柔軟な仕組みを考え、やりたいことを形にできる地域や、役員中心でなく若い世代のグループも関われる自治会を目指します。自治会、連合区、自治協議会の重要な役割を確認し、何を残すか、何を減らすかを検討することで、自治会の役の見直しや合併、連携を進めます。また、ふれあいやつながりづくりを重視し、本当に必要なことを残す自治会運営の検討も行います。

具体的なアイデア

■自治会運営の検討・見直し ■遠阪地区全体・合同〇〇開催 ■働きながら関われる仕組み
■自治会活動・内容・目的の見える化 ■若者・女性の参加 ■将来について話し合う会

地域づくり計画書

これまでの調査や住民の声、ミライン会議での話し合いをもとに、地域づくりの目標を8つに整理しました。本紙は、その概要をお伝えし、地域づくりの方向性を共有するためのものです。

健康な地域

①これからの遠阪の姿

子どもから高齢の方まで、健康に気をつけ、いつまでも元気に暮らせる。そのために医療とのつながりや高齢者の方にも優しい事業があり、気軽に健康に過ごすための取り組みができる地域に。



②目標を実現するための内容（取り組みの方向性）

いつまでも元気に動ける体と、年齢に関係なく心も健康に保てる「心身ともに健康でいられる地域」を目指します。

キーワード

健康を守る 心も健康
元気に動ける健康な体

具体的なアイデア

■出張ヨガ教室 ■散歩 MAP ■話せる機会づくり
■スポーツ・ニューススポーツ体験 ■いきいき百歳体操
■虫・魚とり ■ウォーキング大会 ■囲碁ボール

関わり・支え合える地域

①これからの遠阪の姿

みんなで仲良く暮らす。そのために地域内の交流が活発で、同世代や多世代でも集る機会や場があり、みんなで支え合える、あたたかい緩やかな繋がりがある地域に。



②目標を実現するための内容（取り組みの方向性）

1人暮らしでも、「周りとのつながりがあり、安心・豊かに暮らせる地域」を目指します。そのため、地域に住む住民だけでなく移住者も含め、普段から住民同士がふれあい、支え合う地域のつながりを大切にします。また、遠阪の出身者など、遠阪地域に関心を持ってもらえる関係人口の増加にも取り組みます。

キーワード

高齢者の見守り・支え合い
一人暮らしの人との関わり 移住者との関わり
子ども・子育ての支え合い 住民同士の関わり
地域住民と自治会の関わり 住民同士の支え合い
出身者 / 関係人口との関わり

具体的なアイデア

■支え合いの検討 ■外出支援
■モーニング ■いきいきサロン
■集いの場・趣味で集まる場
■囲碁・オセロ・ゲームの体験
■文化祭 ■運動会
■あいさつ運動 ■廃校利活用
■近所の人と遊ぶ・交流する機会

今後は、8つの地域づくりの目標達成に向けて、さまざまな考えを持つ住民が自由に参画し、知恵を出し合いながら課題の解決に取り組めるよう、自治協議会の運営や活動を、多くの方が参加しやすい形へ見直していきます。ぜひ、みなさんも一緒にご参加ください。

目標3

自然を守り・活かし・共生する地域

①これからの遠阪の姿

自然環境や文化を守り、共生し、恩恵を受けながら楽しく暮らす。そのために自然環境が維持管理され、将来も自然が多く豊かな地域に。

②目標を実現するための内容（取り組みの方向性）

貴重な生き物や植物を育む遠阪の自然環境を守り、「人と自然が共生する遠阪」を目指します。そのため、人が暮らす場所と自然に帰す場所を明確にし、獣害の不安のない暮らしを目指します。また、草刈り作業など農作業の負担を軽減するスマート農業の導入により、農業に関わる人や応援する人を増やし、農業を守ります。



キーワード

- 農業を守る
- 獣害に不安のない地域
- 野生動物を守る
- 草刈りの効率化

具体的なアイデア

- 自然の保全・環境整備・PR
- 草刈り隊・草刈り大会
- 里山づくり・自然遊び
- ラジコン式草刈機活用
- ホタル観察会
- 節分草の公開

目標4

どの世代も楽しみがある地域

①これからの遠阪の姿

子どもから大人まで、男性も女性も元気に楽しく暮らす。そのための子どもの遊び場や活動の場があり、趣味や娯楽など心の豊かさが育まれる場やつながりがある地域に。

②目標を実現するための内容（取り組みの方向性）

遠阪の環境（雪・農業・山など）を活かし、自然と触れ合える楽しみや遊び、昔ながらの農家の仕事や暮らしを体験できる「自然・文化を活かした楽しみのある地域」を目指します。また、地域内外を問わず、若者が遠阪で起業やビジネスに挑戦できる環境を整え、自治会や住民もそれを応援する「若者が挑戦できる、応援する地域」を目指します。



キーワード

- 自然・文化を生かした楽しみのある地域
- 挑戦できる / 応援する地域

具体的なアイデア

- サマースクール
- 子どもキャンプ
- 若者応援
- 文化教室
- 情報発信
- 声かけ・やりたい事とマッチング
- 食事会
- 持ち寄り〇〇会

目標5

移動の不安がない地域

①これからの遠阪の姿

買い物や通院に不便がなく、快適に暮らす。そのために車がなくても自由に移動ができる交通手段や助け合いがあり、既存移動サービスの活用や新しい移動手段の取り入れなど交通インフラが整備・発展している地域に。



②目標を実現するための内容（取り組みの方向性）

いつでも、どこにでも行ける移動手段の確保は難しいため、移動ニーズを的確に把握し、本当に必要な移動希望に応えられる手段を検討します。さらに、デマンド型乗合タクシーを効果的に活用し、限られた範囲の移動だけでも安心して暮らせる地域を目指します。また、子どもから高齢者、外国人労働者まで、誰もが安心できる移動環境の整備を進めます。一方で、移動を伴わなくても目的を達成できる方法や、スマホと連携した健康診断、病院・薬局とのデータ共有など、医療や健康を支える新しい仕組みの検討も進めます。

キーワード

- 行きたい場所に行ける
- 医療や健康を支える新しい方法
- 使いたい時に使える移動サービス
- 子どもから高齢者、外国人労働者まで安心できる移動環境
- 移動せずに（小さな範囲の移動で）目的をかなえる工夫

具体的なアイデア

- 企業との連携・協力
- デマンド型乗合タクシーの活用・夜間便の試行
- 乗合いで買い物にいく
- 通学バスの車両活用

目標6

安心・安全な地域

①これからの遠阪の姿

平和で安心安全に暮らす。そのためにみんなでお互いに見守りができ、空き家や空き地の活用や管理が適切にされ、処分や移住者にも不安がなく、また、自然災害や雪害に対応でき、身近に避難できる場所や備えのある地域に。



②目標を実現するための内容（取り組みの方向性）

空き家の適正管理への啓発に取り組み、所有者とのつながりを持つことで実態把握を行い、危険な空き家の発生を防ぎ、流通を促進する地域を目指します。急峻な山々を背後に抱え危険箇所が多い青垣では、避難先（公民館）の安全確保のための対策を検討し、危険箇所の把握・改善につなげる地域を目指します。笑顔で挨拶を交わすことで、住民のつながりと付き合いを深め、世代を超えて子育てや生活を支え合える地域を目指します。移住者にとって、遠阪地域は人柄が良く、穏やで住みやすいと感じられる地域の良さを残し、移住者や新住民がなじみやすい地域を目指します。

キーワード

- 危険な空き家の発生を防ぎ、流通を促進する地域
- 世代を超えて支え合える地域
- 移住者や新住民がなじみやすい地域
- 子育てや生活を支え合える地域
- 危険箇所を把握し、改善につなげる地域

具体的なアイデア

- 防犯パトロール
- 避難訓練
- 農業・子育て・防犯セミナー
- 空き家片付け・カルテ作成・流通
- 顔見知りになれる機会
- 身近な人との関係づくり
- 非常時の想定・備蓄・対策検討